



一勝懸命・一笑懸命!!! (今年のテーマ)

能勢高生、一丸 見事なチームワーク!!
歌垣小、田尻小、東郷小も参戦

5月31日(金)、今年は早々と梅雨入りしましたが、その合間を縫って晴天に恵まれ、本校体育祭が実施されました。グラウンド状況の回復を待って、当日朝からの準備も生徒たちの協力のもと、手際良く行われました。体育の授業によるラジオ体操や行進の練習、競技の練習も生徒にとって大変良かったようです。5月末までの短い準備期間でしたが、3年生が中心となり応援練習やシンボル製作に1、2年生をリードしてくれました。小学校3校(歌垣・田尻・東郷)の参加はもとより、大勢の保護者の方々、小中学校の先生方が応援に来ていただきました。たくさんの皆さまの応援のおかげで盛大な体育祭となりました。以下は代表生徒のことばです。



クラス対抗リレー

体育祭やった。伝説の体育祭やったぜー!!

芝本 昂節 (黄組団長)

今年の体育祭は1、2年生が積極的に放課後に残って練習してくれ、体育祭で全力で競技をしてくれて本当に楽しい体育祭になりました。黄組のみなさん、本当にありがとうございました。

辻 拓未 (赤組団長)

今までで一番楽しい体育祭だった。めっちゃ盛り上がったしサイコーだったし、すげー思い出に残った体育祭やった。



体育祭・文化祭統一テーマです



入場行進

上田 杏奈 (青組団長・生徒会長)

私は今年の体育祭は、今までで一番思い出に残る体育祭でした。どの団も結団式の時より協力していて、最後の閉会式では、サプライズもあり、とても楽しい体育祭だったと思います。

廣瀬 舞桜 (生徒会副会長)

体育祭、お疲れ様でした!今年の体育祭は昨年よりも盛り上がった気がします。天気も良く、最高の体育祭日和でした。この調子で文化祭もみんなで盛り上がっていきましょう。

向井 裕介 (生徒会会計)

今回の体育祭は少ない生徒人数にもかかわらず、とても活気のある良いものになったと思います。また、生徒一人ひとりが団のために一所懸命になっている姿も印象的でした。思い出に残る体育祭になったと思います。

白坂 彩葉 (生徒会書記)

今年の体育祭は、3年生が主体となり、全学年どの団も全力で競技に挑み、目立ったケガも出ず、非常に良い結果が出せたと思います。私自身とても楽しめたし思い出に残る体育祭になりました。ありがとうございました。

津波古 真美 (生徒会書記)

体育祭自体はとても充実して楽しかった。ただ、青団の応援合戦は3年生のリードに1、2年がうまくついていけない時もありましたが本番では、みんなとても楽しそうでした。

篠崎 仁美 (生徒会広報委員)

各競技の進行が早くて、ブロックごとの応援合戦も良くできて、とてもいい体育祭でした。

育田 みづほ (生徒会広報委員)

今年の体育祭は、昨年とくらべてとても楽しく思い出に残るぐらいの体育祭でした。綱引きや大縄跳びのプログラムでは、先輩方たちと私たち後輩とで協力して楽しい体育祭になれてとてもよかったです。最後までいい体育祭でした。



黄組・赤組・青組のシンボル



小学生・来賓・PTA・教員対生徒の綱引き



楽しかった!小学生のしっぽとり



部門別優勝チーム

- 競技(徒競争、ブロック対抗団体競技)の部: 黄ブロック
- 応援(応援合戦、応援エール)の部: 赤ブロック
- シンボル(ブロックの旗、看板)の部: 青ブロック

東中学校「先輩に学ぶ会」で能勢高生が話をしました

6月12日（水）東中学校体育館にて、2、3年生対象の進路学習「先輩に学ぶ会」が行われました。能勢高校3年生の、上田杏奈さん、向井裕介くん、桂仁くんがそれぞれの体験に基づいて、中学生の時に能勢高校への進学を決めたいきさつや、日々の学習方法、現在の高校生活や、将来の進路希望、そして後輩へのメッセージ等、出身中学の後輩たちに自分たちの思いを伝えました。

中学生たちは年齢の近い先輩の話を直接聞くこの機会をしっかりと活用し、メモを取りながら先輩たちの話を熱心に聞き、そして自分たちの知りたいことを質問しました。「学ぶ会」はすべて東中学3年生の司会で行われ、能勢高校生と東中学2、3年生が共に真剣に交流する有意義な会となりました。



話をする3名の能勢高校生

能勢高校教育実習生が活躍しました。

5月の小中高一貫教育総会で発表した本校卒業生の小林葵さん、丹羽聖美さんが、「保健体育」の教科で3週間の教育実習を終えました。「健康と看護」の授業でエアロビクスを取り入れ、運動後の数値測定を行うなど、有酸素運動についての授業を行いました。「保健」の授業では、救急救命についてAEDの使い方など、心肺蘇生法について実習を行いました。2年生の「総合学習の時間」に、キャリア教育として「先輩は語る」の授業を行い、高校生活、大学生活、将来の夢などを熱く語ってくれました。西中学校で行われた3年生対象の進路学習でも、中学生の時に頑張っていたことや能勢高校の素晴らしさ、さらに高校を選ぶ際のアドバイスなど、中学3年生たちに自分の思いと熱いエールを送ってくれました。西中学校の生徒たちは、全員が熱心に話を聞き入り、とても充実した時間を共有することができました。



「保健」の授業 小林さん（左）と丹羽さん（右）

進路指導部のサポート役 キャリア教育コーディネーター 松本 徹夫です

はじめまして。4月23日に赴任してきました進路指導部キャリア教育コーディネーターの松本徹夫と申します。就職を希望される生徒の皆さんへのサポートを担当しています。また、大学、短大、専門学校を志望されている生徒の皆さんにも一般的なマナーや身だしな、言葉遣いなどのトレーニングもお手伝いさせていただいています。



3年生マナー講座の様子

基礎的なマナーや社会常識を身につけて、就職先や進学先に巣立って行っていただければと思います。高校生は大人への階段を上がり始めるちょうど微妙な時期ではありますが、未来に向かって羽ばたいていく若人には夢や希望を持ち続けてほしいと思います。私が今まで経験してきたビジネス現場のことやビジネスマナーをお伝えして、少しでも生徒の皆さんのお役に立てればと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

食・花・交流系列の生徒が能勢町に草花プランターを贈呈

平成25年7月5日（金）食・花・交流系列の生徒たちが、本校玄関前で、ペチュニアとマリーゴールドのプランターを「大切に育ててください。」というお願いの言葉を添えて、山口禎能勢町長に贈呈しました。

この春、能勢町長から町内の緑化推進の依頼があり、農場での食・花・交流系列の授業で草花を栽培し、20鉢のプランターに植えることになりました。また、能勢高校の生徒作品であることがわかるよう、プランターにイラスト付きのシールも貼りました。

これらのプランターは、役場、ささゆりセンター、野間の大ケヤキ前などに置かれ、人々をなごませてくれるとのこと。見かけられた時には、能勢高校の生徒たちのことを思い起こしてください。



花を育てた2年生（左）と3年生（右）



山口町長に贈呈